

「継続は力なり」～ちょっぴり頑張ってる自分を好きになろう～

新緑がまぶしい季節となってきました。先週の授業参観・育友会総会には、多数の保護者の方々に出席いただきありがとうございました。子どもたちも、進級した喜びと期待に応えようという気持ちがみなぎり、どの教室もいい雰囲気です。授業が展開されていたように感じました。

16日の集会で子どもたちに話をする機会がありました。そのなかで、「何か1つ続けてがんばることを見つけよう」と呼びかけ、「継続は力なり」について話をしました。座右の銘としてよく使われるこの言葉は、小学生には少し古臭いイメージがあるかもしれませんが、古くから伝わっている言葉には重みがあります。「塵（ちり）も積もれば山となる」や「石の上にも3年」、「雨垂れ石を穿（うが）つ」、「千里の道も一歩から」等、似た意味の言葉がたくさんあることから、成果や成功をつかむには、我慢強く、こつこつ努力を続けることが、いかに大切かということが分かります。

ところで、「継続は力なり」は誰の言葉なのでしょう？調べてみますと諸説あるようですが、住岡夜晃（すみおか やこう）氏の「讚嘆の詩」の一部という説が有力です。

古くから言い伝えられてきた言葉ではありますが、最近では、イチロー選手が、インタビューの中で「夢や目標を達成するには1つか方法がない。小さなことを積み重ねることだ」、と述べています。また、現代物理学の父とされるアインシュタイン博士は、「天才とは努力する凡才だ」、と言っています。二人とも決して最初から偉業を成し遂げていたわけではなく、継続の努力を惜しまなかった結果、大きな成果を得られたのです。

皆さんがなかなか結果を出せず、あきらめそうになったときは、天才と称される人たちも数え切れないほどの努力の積み重ねと継続によ

って、ようやく成果が出たのだということを思い出し、続ける励みにしてください。

かく言う私は、朝7:30から学校下の交差点で、子どもたちの登校指導とあいさつ運動を続けることと、全校児童259人の名前を覚えてしまうことを今年度の目標にしました。イチロー選手やアインシュタイン博士の偉業とは比較できない程小さな内容ですが、「三日坊主」の私には継続するのに丁度よい目標だと考えています。子どもたちも、日記や読書、習字やピアノ、あるいは掃除やお手伝い等、その子なりにちょっぴり頑張れば続けられそうな目標を持ってほしいと思います。もちろん大きな目標を持つことも悪くはないけれども、がんばりすぎると続かずなかなか結果が出ません。勉強もスポーツも、そしていかなる成果・成功も、瞬発力よりは少しずつ毎日積み上げていく持続力が大事だと思います。

大野っ子たちのがんばりと成長を楽しみにしています。

讚嘆の詩

住岡 夜晃

青年よ強くなれ
牛のごとく、象のごとく、強くなれ
真に強いとは、一道を生きぬくことである
性格の強さ必ずしも誇るに足らず
念願は人格を決定す **継続は力なり**
真の強さは正しい念願を貫くにある
怒って腕力をふるうがごときは弱者の至れるものである
悪友の誘惑によって墮落するがごときは弱者の標本である
青年よ強くなれ 大きくなれ